

令和元年度公開研究発表会

「水は生きている 2019」

～きれいで豊かな矢作川をめざして～

私たちの生活は広い流域を基盤としています。流域を流れる水は生物や人々の生活を健全に支える重要な資源です。流域社会が持続して発展するためには、土地利用や人の諸活動において、自然と人のつながりを考えて水環境を大切に保全する配慮や工夫が多く求められています。このような状況から当研究会は、矢作川流域において「矢作川方式」がパートナーシップによる流域管理として定着した背景の中で、建設工事においては仮設防災など環境保全に配慮する施工技術が不可欠であり、その理念の普及と施工を支援する環境技術の体系化を図ることを目的として活動しています。本年は研究活動を始めて 33 年目になります。今回の公開研究発表会は、“きれいで豊かな矢作川をめざして”をテーマに以下のとおり開催いたします。

プログラム

- **開催趣旨** 矢作川環境技術研究会 会長
株式会社安藤・間 名古屋支店
土木部長 矢野 竜也 氏

- **挨拶 矢作川沿岸の水質と課題** 矢作川環境技術研究会 顧問
矢作川沿岸水質保全対策協議会
事務局長 天野 博 氏

- **研究発表 (会員の実践事例)** (*: 口述発表者)

- 発表 1 道路改良工事4号工等における土木現場での
施工段階・面積に応じた濁水処理方法管理 . . .
太啓建設株式会社 磯貝 孝宏 氏*
(質疑応答)

- 発表 2 水処理施設築造工事に伴う排水処理に関する取り組みについて
飛島・山旺・岩瀬特定建設共同企業体
飛島建設株式会社 波多野 幹之氏*
(質疑応答)

- 発表 3 大規模造成工事における、濁水対策の取り組みについて
三井住友・日本国土・須藤特定建設工事共同企業体
三井住友建設株式会社 上杉 仁志 氏*
(質疑応答)

□ リラックス Time

金管五重奏

名古屋音楽大学 MusizierenBrass

～ 休憩 ～

(活動展示コーナー)

□ 講演 本当のことを話して次の震災を乗り越えよう

名古屋大学 減災連携研究センター

センター長・教授(工学博士) 福和 伸夫 氏

(質疑応答)

□ 助言者講評 (助言者代表)

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

事務所長 小林 賢次 氏

□ 閉会総括

矢作川環境技術研究会 委員

鹿島建設株式会社 中部支店

支店次長 上田 一晴 氏

【活動展示】

展示コーナー：会場後方の壁際、12：00～17：00

日 時 令和元年 6月 11日 (火曜日)

・公開研究発表会 13：50～17：00

場 所 ホテルキャッスルプラザ (名古屋)

・会場 4階 鳳凰の間